

令和6年度第4回薩摩川内市原子力安全対策連絡協議会会議概要

開催年月日 令和7年 3月12日(水) 午後1時30分～

開催先 薩摩川内市消防局 2階多目的ホール

1. 開 会
2. あいさつ
3. 紹 介
4. 協 議

(1)川内原子力発電所周辺環境放射線調査結果(令和6年7月～9月)について

【質 疑】質疑後、了承

委員：①の空間放射線量の7月から9月の測定結果が前回までの線量範囲内に入っているからグッドですよと言われるが、許容誤差というか基準はいくらなのか。基準というのがどこにあると思うが、前回までの結果の範囲内に入っているからオッケーという規定になっているのか。

事務局：環境放射線は、それぞれ地面の土や岩、空間の気体、宇宙からの放射線などによりそれぞれの場所で基準は異なっている。だから、この調査は発電所ができて環境放射線にどう影響しているかを調査し、比較するものとしてはその場所の発電所ができる前からの数値に対し、どう変わっているかということを評価しているものである。

(2)川内原子力発電所温排水影響調査結果報告(令和6年度春季・夏季調査等)について

【質 疑】質疑後、了承

委員：資料9ページの類似度というのは、どういう意味なのか

水産技術開発センター：類似度とは、前年度の調査の海藻の種類と今年度の調査の海藻の種類で同じ種類がどれだけ出るかという数値。

(3)川内原子力発電所の運転状況について

【質 疑】特になし 了承

(4)川内原子力発電所令和6年度第2四半期原子力規制検査報告書について

【質 疑】特になし 了承

5. そ の 他

令和6年度原子力総合防災訓練について

【質 疑】質疑後、了承

委員：中田内閣府副大臣に西回り自動車道も要望されたということだが、現在市のほうでは宮之城道路についても、計画されている。それに併せて、できれば鉄道についても薩摩高城か草道あたりから線路を引き込んで川内港とつなぐ、それが難しいのであれば、薩摩高城駅から草道の間に、コンテナヤードをつくる。現在、川内駅に併設している部分については、朝夕、大型トレーラーが1回そこまで運んで港への行き来をしているが、限りなく港に近いほうがモーダルシフトの意味からいっても効率が上がるし、また災害時には大量の資機材の搬入はもとより、鉄道を利用して人員の避難とかもできると思うが、市長として、現在、そういう考えはないか。

市長：原子力防災に関わる避難経路、物流ルートについての御質問、御要望と受けた。

まず、高江から久見崎方面の左岸側の県道川内串木野線、これまだ倉浦地区が未整備だが、県のほうも事業化して、県道整備を進めることになっている。二つ目の西回り自動車道については、水引インターチェンジが川内原発から約6キロ、湯田西方インターチェンジが川内原発から大体9キロぐらいのところにある。私も、昨年、内閣府の大臣と今年、中田副大臣にも申し上げたが、川内原発から10キロ内にある二つのインターチェンジがまだ未整備なので、避難経路としても整備しないといけないし、原子力立地自治体のインフラ整備が遅れていることを申し上げ、特に、水引インターチェンジから湯田西方インターチェンジまでの5キロ、現在用地買収が93%、北のほうを加速していただきたいと申し上げた。三つ目の川内宮之城道路、構想ルートの的には、左岸側の原発、それから右岸側の川内港と火力発電所から北に上り、高城温泉の下を通って西回りと交差して、北薩横断道路まで結ぶ25キロを薩摩川内市とさつま町と伊佐市で今進めており、今年初めて国交省の九州地方整備局長まで要望をしている。とにかく、高規格道路として決めてもらうことが大事なので、陳情を続けている。四つ目のJR貨物ルートのこと、肥薩おれんじ鉄道の今後の生き残り活性化を含めても、貨物の占めるウエートは非常に大きいし、動線的にも川内川河口の左岸の原発それから特に右岸の川内港、火力発電所跡地のサーキュラーパーク九州構想もあるので、今の提案については、市としても検討しており、川内港から唐浜付近に、JR貨物と絡めた物流基地ができないかということは、2年ほど前から塩田知事に陳情している。この四つについても要望してまいる。

委員：放射能関係について、環境に対するモニタリングは確実に行われ、非常に安心するところだが、資料3の固体廃棄物の貯蔵率が、既に75%になっている。これがあと何年で100%になるのか、それから、これがいっぱいになったときに、この固体燃料のどういった保管の仕方を検討されているのか、教えていただきたい。

九州電力川内原子力総合事務所長：固体廃棄物貯蔵庫は、今、75%だが、表のとおり、発生量、焼却減容量ということで、ドラム缶の中の燃やせるものは燃やして減容して、ドラム缶の個数を減らしている。それとは別に、雑固体廃棄物のうち金属などはドラム缶に仮置きしているが、それをモルタルで充填して、固化体をつくり、青森県の六ヶ所村に出せるようになる工事をちょうどやっている。設備が加わると、もっと固体廃棄物の貯蔵量は減っていく。

会長：最後に、毎回申し上げるが、九州電力においては、川内原発の安全な運転管理の徹底、市民の皆様に対する丁寧な説明、情報公開をお願いしたい。国におかれては、電気事業

者に対する厳格な指導監督を引き続きよろしくお願いしたい。

委員：この資料は、写真とかは一つもない。それはしょうがないが、来年の初めでいいから、
どういう機械を使って測量や検査をしているのか説明をお願いしたい。委託業者は、発
注元に、写真を添付して提出をしていると思う。例えば、資料２の７ページの海水の流
速と円グラフみたいなのがあるが、これ一つだけ抜粋してこういう状況ですよというよ
うな具体的な説明も欲しい。

事務局：鹿児島県と調整して、海域モニタリング、環境放射線の測定の方法、状況についても
写真等を用いてわかりやすく説明できる時間を設けたいと考えている。

6. 閉 会